

ジェネリック医薬品について

こんにちは。院長の梅津由子です。

例年にない雪の少なさに、地球温暖化の影響がどんどん身近なものになっているような、不安を感じる今日この頃。皆様はどんな冬をお過ごしですか？

今回はジェネリック医薬品についてのお話をさせていただきます。



「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」は、「新薬（先発医薬品）」の特許が切れたあとに販売される、新薬と同じ有効成分、品質・効き目・安全性が同等であると国から認められたお薬です。

新薬の開発には 9～17 年ほどの歳月と、数百億円以上の費用がかかります。ジェネリック医薬品は、すでに安全性・有効性が確認された有効成分を使用しているため、約 3～5 年という短い期間での開発が可能です。そのため、新薬に比べて少ない費用で開発することができます。また、新薬と比べ、お薬の使用方法や安全性情報などの情報提供費用も最小限にできるため、価格を抑えることができるのです。

高齢化社会となった日本の国民医療費は、年に約 1 兆円も増加しているため、国家予算の中で年々医療費が膨らみ続けています。ジェネリック医薬品は有効成分が同じでも安価なため、増大する医療費の抑制や薬代の負担軽減につながることを期待され、国も使用を推進しています。県内の 2018 年度の切り替え率は 31.2%。東北ではトップで、全国でも 4 番目の高さだそうです。

ジェネリック医薬品は、新薬と同じ有効成分を同じ量使って作られています。お薬の形状、色、味、添加物など、別の会社が特許を持っています。使えなかったり、飲みにくいお薬を飲みやすくするためにあえて変えていたりすることもあります。いずれも、お薬の効き目や安全性に影響しない範囲と定められていますが、人によっては添加物などが合わない場合がありますので、その点は注意が必要です。



〒992-0022 米沢市花沢町 2 6 9 5 - 1
0 2 3 8 (4 0) 0 6 0 6

受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30～12:0	☺	☺	☺	☺	☺	☺
2:00～5:30	☺	☺		3:00 6:30	☺	

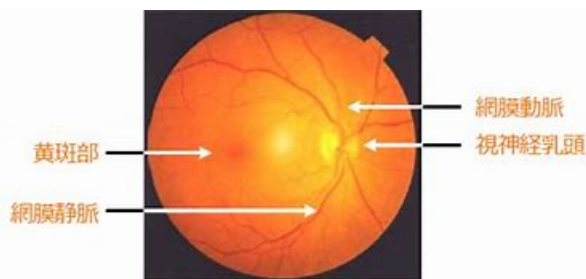
土曜日は昼休みなく、8:30～14:30まで受付です。

目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、
目の健康に関する情報や、
耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



むさんどうがんでい 無散瞳眼底カメラとは？



眼底カメラとは、目の奥の部分（眼底）を写真撮影する器械のことです。眼底写真を撮ることで、目の奥の黄斑部や視神経、血管などの網膜の状態を見ることができます。写真として記録しておくことで、以前の状態と比較することもできます。

眼底写真を撮影するためには、

眼底に光を入れて撮影する必要がありますが、目に光を当てることで瞳孔は小さくなってしまい（縮瞳）、眼底に光が届かず撮影は困難になります。そこで、「散瞳薬（瞳孔を広げる薬）」を点眼して光が当たっても瞳孔が小さくならない状態にして眼底の写真撮影をします。

しかし、散瞳薬は1度点眼すると数時間瞳孔が開いたままになるため、まぶしさや見えにくさがあり、車の運転や日常生活に支障をきたすことが難点でした。

そこで、散瞳薬を使わなくても眼底の撮影ができる「無散瞳眼底カメラ」を導入しました！赤外線を当てることで眼底を照明し、瞳孔が開いた状態でピントを合わせた後、一瞬のストロボ光で撮影します。そのため、瞳孔を開かなくても眼底の撮影が可能となりました。

ただし、無散瞳眼底カメラでは、撮影できる範囲に限界があります。瞳孔を開かないで撮影できるのは中心部（①）だけになります。瞳孔を開くことによって周辺部（②）まで見ることができるので、周辺部に異常がある場合や自覚症状次第では、瞳孔を開いて検査することをお勧めします。

正常



瞳孔直径
3～5mm

縮瞳



瞳孔直径
2mm以下

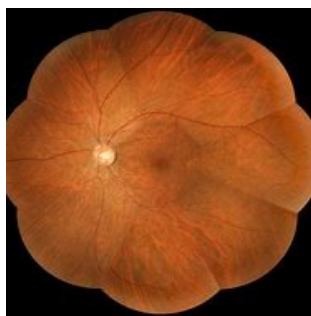
散瞳



瞳孔直径
6mm以上



① 眼底の中心部



② 眼底の周辺部

編集後記

今年は雪が少なく、過ごしやすい冬となっていますが、風邪をひいたり体調を崩したりしていませんか？感染症の流行しやすい時季ですので、うがい・手洗いを心がけ、乾燥に注意しましょう。

まめちよ・ちゃちゃ・より